

キタノメダカ

環境省レッドデータブック2020:VU(絶滅危惧II種)

*Oryzias sakaizumii*

青森県レッドデータブック2020:B(重要希少野生生物)



目:ダツ目

科:メダカ科

属名:メダカ属

大きさ:日本の淡水魚の中で一番小さく、最大でも4cmです。

特徴:背が茶色でお腹が銀色ですが、背景に合わせて体の色を変えられます。繁殖期にはオスの腹が黄色くなり、ヒレが黒くなります。目はオスもメスも青っぽくなります。2011年に遺伝子の違いからメダカはキタノメダカとミナミメダカの2種類に分けられました。

生態:田んぼや川などに住み、動物や植物を食べます。青森県では5月から8月まで卵を産み、何度も繁殖します。卵は水草にくっつきます。寿命は1年から1年2・3か月ですが、まれに2年生きることもあります。

分布:日本固有種であり、青森県は、自然分布の北限で、南は日本海沿いに京都まで分布しています。